

目次

ページ

序文	1
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	1
3. 一般事項	2
4. 分析項目	2
5. 試料の採り方及び取扱い方	2
5.1 試料の採り方	2
5.2 試料のはかり方	2
5.3 試料の取扱い方	2
6. 分析値のまとめ方	2
6.1 分析回数	2
6.2 空試験	2
6.3 分析結果の表示	2
6.4 分析値の検討・選択	2
7. ほう素の定量方法	3
7.1 定量方法	3
7.2 原理	3
7.3 試薬	3
7.4 装置及び器具類	4
7.5 試料はかり取り量	4
7.6 操作	4
7.7 計算	4
8. 窒素の定量方法	4
8.1 定量方法の区分	4
8.2 加圧酸分解—水蒸気蒸留—中和滴定法	5
8.3 不活性ガス融解—熱伝導度法	7
9. けい素の定量方法	8
9.1 定量方法の区分	8
9.2 原理	8
9.3 試薬	8
9.4 装置及び器具類	9
9.5 試料はかり取り量	9
9.6 操作	9
9.7 空試験	9
9.8 検量線の作成	9

9.9	計算	9
10.	アルミニウム, 鉄, チタン, クロム, マンガン, カルシウム及びマグネシウムの定量方法	10
10.1	定量方法	10
10.2	原理	10
10.3	試薬	10
10.4	装置及び器具類	10
10.5	試料はかり取り量	10
10.6	操作	10
10.7	空試験	11
10.8	検量線の作成	11
10.9	計算	11
11.	ナトリウム及びカリウムの定量方法	11
11.1	定量方法の区分	11
11.2	加圧酸分解—原子吸光分析方法	12
11.3	加圧酸分解—炎光光度分析方法	12
11.4	加圧酸分解—ICP 発光分光分析方法	13
12.	炭素の定量方法	13
12.1	定量方法の区分	13
12.2	燃焼 (抵抗加熱) —赤外線吸収法	13
12.3	燃焼 (高周波加熱) —熱伝導度法	15
12.4	燃焼 (高周波加熱) —赤外吸収法	16
13.	酸素の定量方法	16
13.1	定量方法	16
13.2	不活性ガス融解—赤外線吸収法	16
	附属書 (規定)	33
1.	酸化ほう素 (B ₂ O ₃) の定量方法	33
	ファイナセラムックス用窒化ほう素微粉末の化学分析方法 解説	38

ファインセラミックス用窒化ほう素微粉末の 化学分析方法

Method for chemical analysis of boron nitrides powders for fine ceramics

序文 窒化ほう素微粉末をファインセラミックス用原料として使用する場合に、その化学成分を知ることが必要となる。そのための化学分析を規定したものである。

1. 適用範囲 この規格は、ファインセラミックスの原料として用いられる窒化ほう素微粉末の化学分析方法について規定する。

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS H 6201	化学分析用白金るつぼ
JIS H 6202	化学分析用白金皿
JIS K 0050	化学分析方法通則
JIS K 0116	発光分光分析方法通則
JIS K 0121	原子吸光分析方法通則
JIS K 0557	用水・排水の試験に用いる水
JIS K 0970	プッシュボタン式液体用微量体積計
JIS K 8001	試薬試験方法通則
JIS K 8007	高純度試薬試験方法通則
JIS K 8228	過塩素酸マグネシウム（試薬）
JIS K 8615	炭酸カリウム（試薬）
JIS K 8625	炭酸ナトリウム（試薬）
JIS K 8819	ふっ化水素酸（試薬）
JIS K 8863	ほう酸（試薬）
JIS R 3503	化学分析用ガラス器具
JIS Z 8401	数値の丸め方
JIS Z 8402-2	測定方法及び測定結果の精確さ（真度及び精度）-第2部 標準測定方法の併行精度及び再現精度を求めるための基本的な方法
JIS Z 8402-6	測定方法及び測定結果の精確さ（真度及び精度）-第6部 正確さに関する値の実用的な使い方